

# 介護工学研究会 平成25年度 活動報告

## 定例会

基本的に毎月第1木曜日 19:00-20:00 新居浜高専リエゾンルームにて行っている。

参加者(メンバー)は、福祉関連に興味ある方なら誰でも参加可能。

基本的には情報交換会であるが、メンバーや外部機関が開発したものについての多彩なメンバーによる多様な視点からの意見交換などを行っている。

**第187回** NPO 法人新居浜いきいき工房の下村氏による「エコキュートと電気温水器の違い」について実際の家庭で測定された電気使用状況(時間と量)に基づいた考察を講話いただきました。特に電気代が申請どおり値上げされた時の違いやそれらを回避する方法としての太陽熱温水器、ガス、灯油、遠赤外線ヒーターなどとの違いなどなど。

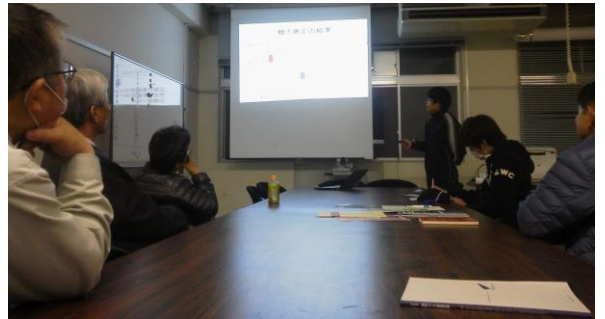
また、障害者の経済的自立に向けてアートの能力を支援しようと活動されている「島の風工房」の長谷川さんから、具体的な活動内容の紹介をしていただきました。活動を軌道に乗せるために、NPO 法人を取得し、多くの支援を受けやすいようにしては、などいろいろな方面からの意見が飛び交いました。



～

## 第194回

- ・「移乗介護動作における要介護者の頭部の動き」
  - ・「周桑手漉き和紙の檀紙の製造過程における刷毛さばきの特性」
  - ・「普通旋盤加工品のチャッキングにおける製品の圧痕の解析」
- について、新居浜高専機械工学科の学生が研究成果発表を行い、それらについて意見交換をしました。



## 福祉機器改善相談事業

いろいろなところから依頼を受けて出張「福祉用具相談コーナー」を開設しています。  
(介護工学研究会、NPO 新居浜いきいき工房共催)

- ・第19回生き生き幸せフェスティバル 平成26年10月5日 新居浜市総合福祉センター (ふれあいプラザ) 福祉用具改善相談コーナー
- ・平成25年度 社協「福祉機器修理改善相談コーナー」  
平成25年4月18日(木)、5月16日(木)、6月20日(木)、7月18日(木)、8月22日(木)、9月19日(木)、10月24日(木)、11月21日(木)、12月19日(木)、平成26年1月16日(木)、2月20日(木)、3月20日(木)

## 研究成果発表

- ・「福祉現場における実践的課題解決プログラム」を新居浜高専が実施するに当たり、介護工学研究会の多くのメンバーの御助力を得ました。「認知症におけるデジタル回想法の効果について」新居浜高専2年～専攻科1年までの28名の学生と社会福祉法人すいよう会5施設の8名のご利用者およびそのご家族ならびに5施設の職員との連携による9か月に及び取組んだ。その内容について、「平成25年度高専女子フォーラム in 四国」において発表。
- また、「Japan AT フォーム 2014」にて発表。

### 福祉現場における実践的課題解決プログラム 認知症の課題と取り組んで得たこと

新居浜高専 機械工学科3年 室野 美希子

**目標**  
地域の高齢者施設とその職員の方々の協力のもと、地域貢献と学生の責任感・達成感などエンジニアとして大きな成功体験を得ること

**目的**  
認知症の方々にデジタル回想法で昔のことを思い出してもらい、認知症の症状を和らげる

**手順**  
1. 高齢者福祉施設見学  
2. 実習生・認知症・看取りケアについて受講  
3. インタビュー・デジタル回想法の開発  
4. 模範品の製作  
5. 1ヵ月間の模範品・デジタル回想法の効果検証  
6. 平成26年10月～平成26年12月

**内容**  
講義を受けて学んだこと  
デジタル回想法って？  
・思い出のある写真を音楽に合わせて再生することで、昔のことを思い出してもらおうとしたり、情報の変化を図る  
認知症ってどんなもの？  
・記憶を徐々に失い、状況把握・判断することが難しくなる  
⇒ 言葉・動作・表情・いらだち・無気力などの症状が出る  
・「覚えられない」「何かがおかしい」などの訴え  
認知症の人とのコミュニケーションはどうすればいいの？  
・言葉よりも「顔」や「姿勢」「態度」が重要  
・相手の世界に合わせる

**模範品の製作**  
・DVDを観る前には比べる方が増えた  
・DVDを観た直後は驚いており、恥ずかしく聞かずに話してくださった  
利用前 表情の変化  
ご利用者やご家族・職員の感想  
・楽しい思い出がよみがえってきた  
・改めてその人を知ることができた

**DVDの感想**  
・制作したDVDの模範品  
・ご利用者さんの写真を通して、社会人としての心構えと姿勢が、職員様にも伝わった  
・知らない時代のことが増え、有意義だった

### 学生の変化

**図4 高齢者施設のイメージ**

項目	講義前	講義後
高齢者施設は怖い	40%	20%
高齢者施設は静か	30%	50%
高齢者施設は賑やか	20%	30%
高齢者施設は清潔	10%	40%
高齢者施設は汚い	10%	10%

・悪いイメージから明るいイメージに変わった  
・ご利用者さんは子どもで良かった、他の方はほしかった、楽しそうにしていた  
・他の人からは年齢が立っていないように思えても、ご利用者さんとの間で成立していることがわかった

**図5 認知症のイメージ**

項目	講義前	講義後
認知症は怖い	40%	20%
認知症は静か	30%	50%
認知症は賑やか	20%	30%
認知症は清潔	10%	40%
認知症は汚い	10%	10%

・とても楽しげなことができた  
・思っていたよりよかったです  
・明るくて元気な笑顔だった

**学生の感想**

- ・認知症に対する偏見がなくなった
- ・認知症は人によって症状が違うということがわかった
- ・自分たちの期のご利用者さんは10歳という自分の年齢近くまで取組んでいる人だったけれど、明るくて元気な笑顔だったので驚くくらいでした
- ・施設は違うと学年交流で新鮮だった

**1ヵ月の模範品によるご利用者さんの持続的な効果**

- ・これまで、午後になるとお話をしていたが、DVDを観ることで午後からも落ち着いて過ごせるようになった
- ・これまで、5人で観て観かかるとが一人でできなかったが、DVDを観ることで一人で観ることができるようになった

**プロジェクトを通して得たこと**

- ・自分の認知症になってもいいように日々勉強することの大切さを感じた
- ・福祉・介護の現場(施設・家庭)の介護(福祉)生活内容などの実習を学ぶことができた
- ・ご利用者さんが笑顔になってくれたことが嬉しかった
- ・DVD作成についてご家族や職員の方から非常に喜ばれ、喜ぶもしたが、とてもうれしかった

**結言**

地域の方々や他学年の人と協力し、認知症という一つの課題の解決に取り組むことによって、

1. エンジニアの役割が、社会貢献(ご利用者さんの笑顔が明るくなった)でき、勉学の意欲が高まった
2. 参加学生の知識・スキル・達成感の向上につながった
3. 多くのご利用者さんのDVD作成を後援スタッフから絶賛された

※本事業は「平成25年度高専女子フォーラム in 四国」の支援を受けて行われた。また、デジタル回想法は新居浜高専ならびに社会福祉法人すいよう会の施設・職員・ご利用者ならびにそのご家族の多大なご協力に感謝いたします。